

6. 解説「関連データ・用語・仕組み」:Wi-Fi 人口統計データとは

コロナ禍により、外出自粛が要請され、その結果について数値情報がいろいろ報告されたが、その中の一つに、国際航業が開発・提唱したのが「Wi-Fi 人口統計データ」である。

参考：Wi-Fi 人口統計データ <https://bit.ly/3eyV149>

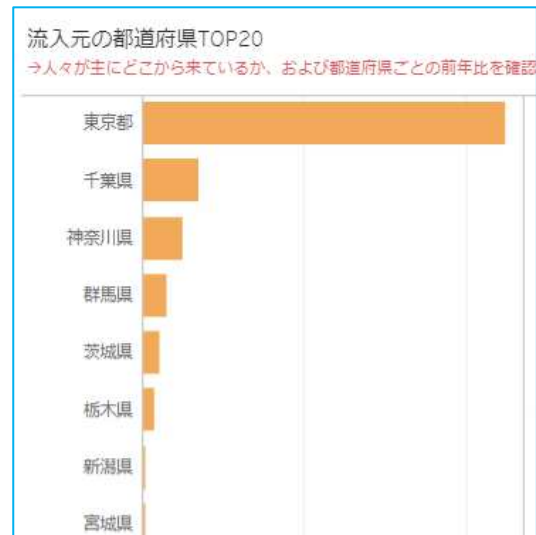
【公開先】[随時データ更新] <https://public.tableau.com/profile/.50683292#!/>

同社のプレスリリースによると、そのポイントとして下記の3つがあげられている。

1. Wi-Fi の活用により、地下街や高層ビル内など GPS の届きにくい場所でも精度の高い位置情報分析や「人の動き・移動」分析が可能
2. Wi-Fi 接続情報は人々の就寝時におけるデータ取得はなく、活動中の「人の動き・移動」を捉えることが可能
3. フリーWi-Fi は、多くのコンビニエンスストアや飲食店、商業施設、遊戯施設などに広く分布する為、施設利用状況を表すデータとして商圈分析や顧客分析、観光スポットの回遊調査など、さまざまな分野で活用が可能

確かに、田舎では設置が少ないが、人が多く集まる場所には相応に設置されているフリーWi-Fi に基づくデータは活動している人の行動が匿名で把握できる。

このようなリアルな実態の移動データが収集できるのであれば、まちなかにフリーWi-Fi を設置すれば可能ということであり、アナログなアンケート調査に代わるデジタル技術活用と云える。なかなか面白い。



埼玉県の流入元都道府県

平常時はまちづくり計画に活かし、非常時は追跡/監視に活かすという使い方ができる。いろいろ、工夫次第でいろいろできそうである。

所沢駅における
活動人口の推移

